資料４

報告書（案）目次構成に関する提案

20120112　園田（明治大学）

３．超高齢社会における課題
（１）「高齢者」の定義のズレ
（２）世代間格差、世代内格差の存在
（３）高齢者等の孤立化、地域のつながりの希薄化
（４）地域力、仲間力の弱さ
（５）人生 60 年時代のままの世代循環モデル

４．今後の超高齢社会に向けた基本的な考え方

（１）「高齢者」の定義の変更
（２）老後の安心を確保するための社会保障制度の確立
　年金、医療、介護
（３）高齢者パワーの活用
　①高齢期以前の準備の強化
　②さまざまな生き方を可能とする新しい活躍の場の創出
　③柔軟な働き方の実現
　④シルバー市場の開拓と活性化
（４）地域力の強化と安定的な地域社会の実現
　①「互助」によるコミュニティの再生
　②地域包括ケアシステムの推進
　③孤立防止のためのコミュニティの強化
　アウトリーチ型アプローチ
（５）安全、安心な生活環境の実現
　①バリアフリー、ユニバーサルデザインの深化
　②犯罪、消費者トラブルからの保護および成年後見等の拡充
（６）人生 90 年時代に即した世代循環モデルの確立
　①人的資本の蓄積とその活用
　②資産形成とその活用による安定した老後生活の実現

上記は、「１２・２８事務局未定稿」に元に作成